

■平賀元義 歌人，国学者。万葉の世界に憧れ，諸国を放浪し，奔放奇行。正岡子規が称揚。

ひらがもとよし

伊能測量始・1800＝ 備中国下道郡徳北郷陶村の母の実家で，岡山藩中老勘解由の家老職平尾長春の子に生まれる。  
宣長没・・・1801＝ 1歳：嫡子となる。

いざノ来航・ 1804＝ 4歳：弟源五郎が誕生。

幼時から記憶力に優れて周囲を驚かせ，

浮世風呂・・・1809＝ 9歳：

高田屋拿捕・1812＝12歳：岡山藩の師範家馬場氏(太刀)及び牧野氏(弓)に入門。

浮世床・・・1813＝13歳：岡山藩校に入学。  
後楽園での御前試合で模範演技するほど武芸に励み，  
病身の父の補佐役を勤め，

伊能測量終・1816＝16歳：元服。

杉田玄白没・1817＝17歳：岡山藩士斎藤直興と馴染みとなり，「岡山藩士香川清左衛門最長の歌会」に出る。

水野忠成老中1818＝18歳：父の兵学の師岡山藩士小林九郎大夫圓の娘と結婚するも，

群書類従完結1819＝19歳：すぐ離縁，何らかの家庭の事情があったのか，

・・・1820＝20歳：同志を集めて「日本書紀」の講義を始めるとともに，病氣理由に致仕し，弟が嫡子となる。

蝦夷地直轄終1821＝21歳：窪谷郡の足高神社に参詣するが，  
なお，武芸に励み続け，

いざノ来航・1824＝24歳：弟源五郎が家督を相続し，自らは祖母の実家興津家の厄介人となり，興津新吉藤原直元と名乗り，

・・・1826＝26歳：岡山藩校において和漢書六十六部を閲覧。

日本外史・・・1827＝27歳：父が死去。

いざノ来航・1828＝28歳：この間，興津家の奉公人の無礼を咎めて手討ちにする事件を起すも，正当防衛が認められる。

富嶽三十六景1831＝31歳：正月，児島郡に遊び，下津井・田土浦・木見等で歌を詠む。

鼠小僧磔・・・1832＝32歳：弟が主家の命を拒む事件を起して，岡山退去となったのに連座し，脱藩して，平賀七蔵を名乗る。

天保大飢饉始1833＝33歳：備中笠岡の神主小寺清之を訪ねた後，\*自由の身を満喫，大旅行に出，出雲大社・熊野大社に詣で，

滑稽+人情本 1835＝35歳：備前一ノ宮の社家大守家の食客となり，

・・・1836＝36歳：

大塩平八郎乱1837＝37歳：「出雲風土記考」を著し，

適塾オープン・ 1838＝38歳：「太平記」40巻，

蛮社の獄・・・1839＝39歳：「万葉集」(巻七・十)，

勸進帳初演・1840＝40歳：「古武鑑」，

天保改革始・1841＝41歳：「蕉雨園集」，

天保改革弾圧1842＝42歳：「堀川院百首」「千五百番歌合」と，次々抄し，

順天堂始・・・1843＝43歳：足高神社の碑文撰定に着手，讃岐国へ遊んで，

天保改革終・1844＝44歳：碑文完成させた後，一ノ宮の社家を出，美作方面に足を延ばし，

阿部正弘首座1845＝45歳：上洛。

孝明天皇・・・1846＝46歳：備前北島神社の業合大枝を訪ねる。

・・・1847＝47歳：「にひまなび」を抄する。

・・・1848＝48歳：\*門人も出てきたことから，備前石淵鴨神社神主長浜氏の次女と再婚し，長浜家に同居。入門してきた美作の代々庄屋を務める豪農矢吹林太郎を訪ね，以後，経済的支援を受ける。

国定忠治磔・1850＝50歳：長男源大が誕生。

尊徳報徳論・1851＝51歳：病気の母を見舞うべく上洛するも，母が死去。

万次郎帰国・1852＝52歳：「山陽道名所考」(美作巻)を完成。「吉備国歌集」を抄する。

ペリー来航・1853＝53歳：

開国開港・・・1854＝54歳：ペリー来航の外圧に，「具足着用の歌」7首や「神官めざまし草」を著して自覚を促す。

この間，美作を中心に，門人の家を渡り歩いて講義してきたが，

松下村塾・・・1856＝56歳：「蔵書目録」を記す。

蕃書調所・・・1857＝57歳：門人矢吹林太郎の支援で，{楯之舎塾}を創設し，「山陽道名所考」(美作巻)を刊行するなどしたが，

安政の大獄・1859＝59歳：早くも行き詰まって，{楯之舎塾}を閉鎖。以後，しばらく矢吹家に居候。

桜田門外変・1860＝60歳：

生麦事件・・・1862＝62歳：「古事記伝」を抄する。

8月18日政変 1863＝63歳：\*尊皇攘夷運動が最高潮となるなか，岡山藩で神官中心に「社軍隊」が結成され，多くの門人が入隊し，彼らを中心に，自らの帰藩運動運動が起こり，藩でも見直そうとした矢先，

薩摩藩士密航1865＝65歳：\*「自筆年譜」を記した後，門人宅に赴く途中，脳卒中で倒れ，没した。